

優しい心、貴い命

保育園で楽しそうに過ごしている子どもたちを見ると、自然に恵まれたところで良かった、馴染んでくれて良かったと思います。

優貴保育園の名前のとおり、「優しい心をもった人、貴い命の大切さが分かる人」に育ってほしいので、子どものうちからいろいろなことを教えたいです。



社会福祉法人 愛
優貴保育園
上村 悟 理事長



社会福祉法人 福芳会
こうのとり保育園
春田 裕子 園長

子どもの幸せが第一です

こうのとり保育園で園生活を送る中で、「あいさつをする、靴をそろえる、元気よく返事をする」子どもに育てたいです。10分間の漢字絵本の読み聞かせをすると、落ちついて聞いている園児もいます。

「子どもの幸せ」を第一に考えて、保護者の皆さんと一緒に子育てをしていきます。

お友だちを
たくさんつくってね

最初は泣いていたけど、保育園にもすぐに慣れて、お友だちもできて毎日楽しそうです。

保育園も木の建物が子どもにやさしそうでいいですね。

これからもお友だちをたくさんつくって元気に過ごしてほしいですね。



保護者 田代 康代 さん
琉偉 ちゃん
(津久礼ヶ丘)

写真右/こうのとり保育園の入園式。園児たちは先生に名前を呼ばれると、手を挙げて元気よく返事ができました。後ろでは保護者があたたかく見守っています。

写真左/優貴保育園の2歳児。遊戯室では、たくさんのお友だちと走りまわったり、遊具を使ったりして仲良く楽しそうに遊んでいました。



こうのとり保育園

場所は西小学校の隣。2階建ての園舎は、「木育」として室内は木でつくられており、温かみのあるつくりになっている。

優貴保育園

場所はさんさん公園の隣。園舎は小国杉をふんだんに使い、木の香りが漂う、子どもの心が安らぐようなつくりになっている。

2つの保育園がスタート

県内一人口が増加している菊陽町。平成21年は、4,871人の子どもたちが生まれ、人口も852人増加(前年比)しました。

今年4月には「優貴保育園」と「こうのとり保育園」が新しく設立され、入園から1カ月が経過した園児たちは、元気な笑顔をみせています。

両園とも4月3日に入園式が行われました。

入園式当日は、両園の門出を祝うかのように、春らしい暖かな気温になり、保護者、先生、来賓の皆さんが子どもたちを見守る中、式は行われました。

優貴保育園

優貴保育園には、86人が入園しました。

式では、優貴保育園の上村理事長が、「優しい子どもになってほしい、貴い命の大切さを知ってほしいという思いを込めて、この保育所名にしました。たくさん友だちをつくって仲良く過ごしましょう」

町の子育て支援

町では、「子どもを生み育てやすいまち」を推進しています。昨年度は、2つの認可保育所の誘致をはかり、本年4月に開園しました。認可保育所としては、平成19年の光の森キャロット保育園以来の開園です。

これにより、公立保育所8園と私立保育所3園の合計11園で、0歳児の乳児から就学前児童までの、将来の日本を支える約千人の子どもたち

町の子育てをさらに
応援する新しい保育園

優貴保育園
こうのとり保育園

子どもの笑顔には、人を励ます力があり、一緒に笑顔になれます。私たちは、子どもの笑顔のために頑張ろうと思います。町の子どものためにさらに進める子育て支援。今回は、新しく開園した保育園と町の子育て支援を合わせてご紹介します。

とあいさつしました。また、清田やす子園長が、「子どもの健全な成長のために開園したいという思いが実現しました。地域に信頼され、愛される保育園を目指します」と語りました。

こうのとり保育園

こうのとり保育園には、90人が入園しました。

式では、こうのとり保育園の塚本美津代理理事長が、「熊本県

保育を実施できることになりました。また、白鈴園と光の森キャロット保育園の「地域子育て支援センター」では、親子で楽しむ体験活動で交流の場をつくり、子育て相談などを行っています。

そのほか、武蔵ヶ丘児童館事業や仕事と子育ての両立支援対策としての学童保育、幼稚園就園奨励事業、また病後児保育事業など、さまざまな事業を実施しており、「子育て支援の充実」に努めています。

保育協会が取り組む少子化対策活動の『このとり運動』から名前をつけました。漢字絵本の読み聞かせをして集中力を養い、正しい姿勢で人の話を聞ける子どもを育てていきたいです」とあいさつ。先生たちの明るい自己紹介と入園式の歌で、園児たちを歓迎しました。

園には、熊本県産材利用加速化促進事業補助金を活用して、県産材を使った木製遊具と外構を整備しています。